

2018(平成 30)年度

青山学院大学大学院  
科目等履修生 募集要項

社会情報学研究科  
社会情報学専攻 博士前期課程

社会情報学コース (相模原キャンパス)  
ヒューマンイノベーションコース (青山キャンパス)

社会情報学研究科の概要は、  
青山学院大学の公式ホームページ (<http://www.aoyamagakuin.jp/>) で紹介しています。

## 青山学院教育方針

青山学院の教育は  
キリスト教信仰にもとづく教育をめざし、  
神の前に真実に生き  
真理を謙虚に追求し  
愛と奉仕の精神をもって  
すべての人と社会とに対する責任を  
進んで果たす人間の形成を目的とする。

## 青山学院大学の理念

青山学院大学は、「青山学院教育方針」に立脚した、  
神と人にとり仕え社会に貢献する  
「地の塩、世の光」としての教育研究共同体である。  
本学は、地球規模の視野にもとづく正しい認識をもって  
自ら問題を発見し解決する知恵と力をもつ人材を育成する。  
それは、人類への奉仕をめざす自由で幅広い学問研究を通してなされる。  
本学のすべての教員、職員、学生は、  
相互の人格を尊重し、建学以来の伝統を重んじつつ、  
おのおのの立場において、時代の要請に応えうる大学の創出に努める。

### 個人情報の取り扱いについて

出願に際してお知らせいただいた住所、氏名、生年月日等の個人情報は、  
①願書受付、②入学試験実施、③合格発表、④入学手続きとこれに付随する  
業務を行うために利用します。

## 青山学院大学大学院社会情報学研究科 教育研究上の目的

### 人材養成上の目的

インターネットやウェブに象徴される現代社会では、情報システムそのもの、情報システムと人や組織との係わり方、あるいは人や組織や社会そのものに係わった明暗様々な問題が止め処なく噴出し顕在化している現状があり、そのような問題の本質を見抜き、自らが問題解決を図れる人材の養成が火急の課題となっている。明らかに、そのような人材の養成は、学部レベルの教育に加えて、更に広い視野に立って精深な学識を授け、社会情報学分野における研究能力を、あるいはその学識に加えて高度の専門性を求められる職業を担うための卓越した能力を有する高度な人材養成を目的とする社会情報学分野の博士レベルの教育体制を整備することにより達成できると考えられ、このような目的を達成するために社会情報学研究科は設置されている。

### 教育課程

社会情報学分野の人材に求められる専門性については、社会情報学を究めようと欲する者の2つの側面に着目して、体系的な教育を展開する。一つは、社会情報学をより専門性を高めて精深に授けることにより当該分野における研究能力又はこれに加えて高度の専門性が求められる職業を担える人材を養成するという一般的な側面であり、もう一つは、特に入学する者が既に学校機関、公益・非営利団体、企業法人等の領域にフィールドを持っている「職業人」に対しては、学習集団や組織を自律的に動かすために必要な協働的な組織環境や学習環境のデザイン能力、あるいはお互いに学び合い創発し合うコミュニケーションの促進能力を備えた人材を養成するという側面を有すると考えられる。具体的には、これら2つの側面に留意して、社会情報学研究科は全体としては1つの専攻（社会情報学専攻）に2つの専修コース「社会情報学コース」と「ヒューマンイノベーションコース」を設けている。専修コースの内容は以下のとおりである。

**社会情報学コース :**

人文・社会科学と理学・情報科学が融合して出来上がる社会情報学をより高度に学ぶということは、いわゆる文系、理系の枠を超えた識見を有することであるとの認識により、現代社会が抱えるさまざまな問題点を自分の力で見つけて、問題解決できる人材を養成できると考えられる。このような能力は、現代の輻輳した社会において、ファイナンス関連、経済や地域政策関連、情報システム関連等、あらゆる分野で活躍しようとする人々にとって必要不可欠なものとなっている。従って、このコースでは社会情報学に対して広い視野に立って精深な学識を身につけ、当該分野における研究能力又はこれに加えて高度に専門的な職業を担える人材が養成できる。

**ヒューマンイノベーションコース :**

さまざまな現場で「学び」を生み出し、それを人・組織・社会の変革＝イノベーションへと結びつけることのできる専門的能力をもった人材の育成に重点を置いたコースである。学習科学、認知科学、学習環境デザインなど広義の「学び」に関する最先端の理論と研究方法を学び、それをベースにしてワークショップデザイン、人材育成、組織変革、学校教育、地域活性化、コンサルテーション、NPO 活動、行政サービスなどさまざまな現場でイノベーションを生み出す高度な実践力を身につけることを目指す。

## 【科目等履修生】

科目等履修生とは、本大学院の特定の授業科目につき履修する者で正規学生の教育研究に支障をきたさない範囲において、選考の結果許可される者をいいます。履修期間は科目により半年間または1年間です。

## 科目等履修生の区分

- (1) 単位を必要とする者
  - (2) 単位を必要としない者
- \* 出願時に(1),(2)のいずれかを申し出、履修途中の変更は認めません。

## 募集人員

正規課程学生の教育研究に支障が生じない範囲の人数

## 出願資格

次のいずれかに該当する者。

- (1) 修士の学位または専門職学位を授与された者、および2018年3月授与見込みの者。
  - (2) 学士の学位を授与された者、および2018年3月授与見込みの者。
  - (3) 外国において、学校教育における16年の課程を修了した者。
  - (4) 文部科学大臣の指定した者。
  - (5) その他本大学院において、学士の学位を授与された者と同等以上の学力があると認められた者。
- ただし、外国人については上記の出願資格のほか、次の①と②の双方に該当する者。
- ① 次のいずれかに該当する者
    - イ. 履修する年度の4月より1年間以上日本国に在留資格を有している者。
    - ロ. 年度の途中で日本国の在留資格の期限が切れる者については、期限後も本学の科目等履修生の身分に関係なく、在留資格の更新が可能である者。
  - ② 財団法人日本国際教育支援協会が実施している外国人日本語能力試験の一級合格者。

以上、いずれも大学院在学中の学生は出願を認めない。

## 選考方法および選考日

- (1) 単位を必要とする者  
書類審査（ただし、口述試問を行う場合があります）  
※口述試問を行う場合は**2月24日（土）青山キャンパス**で実施します。  
実施する場合のみ2月23日（金）17:00までに電話にてご連絡いたします。  
連絡が無い場合は書類審査のみとなり、口述試問は行いません。
- (2) 単位を必要としない者  
書類審査

## 履修授業科目および科目数

- (1) 授業科目 2018 年度開講する社会情報学専攻の授業科目  
(ただし、一部の科目は除きます)
- (2) 科目数 合計 12 単位の範囲で選択できる科目数

## 出願書類

1. 科目等履修生願 (本学所定用紙)
2. 理由書 (本学所定用紙)
3. 出身大学等の成績証明書 (更新者及び本学出身者は不要)
4. 出身大学等の卒業 (見込) 証明書 (更新者及び本学出身者は不要)
5. 振込通知書 (本学所定用紙 大学院提出用: 銀行の収納印の押されたもの)  
銀行で審査料を振り込んだ際に受け取った振込通知書 (大学院提出用) を、振込通知書貼付用紙 (本学所定用紙) に貼り付け提出してください。金額が訂正されたものや収納印のないものは無効です。
6. 大学評価・学位授与機構より学士の学位を取得 (見込) の者は、単位取得証明書および学位取得にかかわる証明書。
7. 外国人は住民票 (または住民票記載事項証明書) および日本語能力試験一級合格証明書
8. 返信用封筒 2 通 **※封筒種類に注意**
  - (1) 受験票兼出願受理票送付用 **【長形 3 号封筒 (120×235mm)】**  
必ずボールペンにて**送付先住所を明記**のうえ、**82 円切手を貼付**してください。
  - (2) 合否通知送付用 **【角形 2 号封筒 (240×332mm)】**  
必ずボールペンにて**送付先住所を明記**してください。ただし、**切手は不要**です。

## 審査料

- (1) 単位を必要とする者 : 35,000 円
- (2) 単位を必要としない者 : 35,000 円

1. 指定の振込依頼書を使用し、郵便局・ゆうちょ銀行を除く日本国内の銀行窓口より振り込んでください (ATM は不可)。  
出願期間最終日を過ぎると振り込みできません。なお、銀行窓口時間にご注意ください。
2. 振込通知書 (大学院提出用: 銀行の収納印の押されたもの) は本学所定用紙に貼付し、出願書類に同封してください。
3. 出願受付後、審査料は返還いたしません。

(※) 2017 年度募集要項まで記載のありました「単位を必要としない者で、本学大学院社会情報学研究科修了後 10 年以内に同一研究科の科目等履修生に出願する者の審査料は免除」の制度は、2018 年度募集分より終了となりました。該当者は出願する際、ご注意ください。

## 出願手続および期間

出願はすべて郵送受付とします。【簡易書留】

〔受付期間〕

2018年1月29日（月）～2018年1月31日（水）【消印有効】

出願者は、出願書類一式を角形2号封筒（240×332mm）に入れ、簡易書留・速達で郵送してください。郵送の際は、封筒の表に必要事項を記入した所定の出願用封筒表紙を貼り付けてください。

〔注意事項〕

1. 2018年1月31日（水）消印有効です。これを過ぎた消印のものは受理せず返送します。
2. 必ず簡易書留・速達とし、出願書類一式を同封のうえ送付してください。受験票兼出願受理票は、本人宛に郵送します。ただし、受付事務・郵便事情等により返送が多少遅れることがあります。
3. 一旦受け付けた出願書類、審査料は返還しません。
4. 出願用封筒表紙は、カラーで印刷してください。白黒印刷の場合は上部「速達」部分を赤線で囲ってください。

〔送付先〕 ※ただし、出願時には所定の出願用封筒表紙を使用してください。  
青山学院大学 相模原事務部学務課 社会情報学研究科入学願書受付係宛  
〒252-5258 神奈川県相模原市中央区淵野辺 5-10-1  
TEL 042-759-6072（ダイヤルイン）

## 合否通知

下記の日程で郵送します。

2018年3月2日（金） 発送予定

尚、発送予定日から3日を経過しても届かない場合は、電話（TEL 042-759-6072）にてお問い合わせください。

## 受講手続

合格者へは合格通知とともに受講手続書類を郵送いたします。所定の期間内に手続書類を返送して受講手続を完了してください。

なお、期間中に手続きをしない者は受講を辞退したものと見なします。

受講手続締切日： 2018年3月9日（金）

2018年3月9日（金）消印有効です。これを過ぎた消印のものは受理せず返送します。必ず簡易書留郵便とし、手続書類一式を同封のうえ送付してください。

## 受講手続必要な書類等

- ・誓約書（本学所定用紙）
- ・学生身上書（本学所定用紙）（縦4 cm×横3 cmの写真貼付）
- ・住民票または住民票記載事項証明書（更新者及び本学出身者は不要）  
（外国人は出願時に住民票を提出済みなので不要）
- ・振込通知書（本学所定用紙 大学院提出用：銀行の収納印の押されたもの）  
銀行で受講料を振り込んだ際に受け取った振込通知書（大学院提出用）を、振込通知書貼付用紙（本学所定用紙）に貼り付け提出してください。金額が訂正されたものや収納印のないものは無効です。（銀行の収納印の押された大学院提出用）
- ・宛先記入ラベル（学年初頭行事日程等郵送用）
- ・写真 1枚（縦4 cm×横3 cm枠なし）（科目等履修生証作成用）
- ・学籍資料票（本学所定用紙）
- ・学生通学住所登録用紙（本学所定用紙）

## 受講料

- |                |           |          |
|----------------|-----------|----------|
| (1) 単位を必要とする者  | : 1 単位あたり | 42,000 円 |
| (2) 単位を必要としない者 | : 1 単位あたり | 10,500 円 |

## 単位の授与

(1)単位を必要とする者には、履修した授業科目の試験に合格した場合は単位を与え、願い出により単位修得証明書を交付します。

## 注意事項

- (1) 履修を許可されない授業科目もありますので、ご注意ください。
- (2) 次年度以降引き続き授業科目の履修を願い出る場合は、各年度の出願期間中に改めて願書を提出しなければなりません。  
ただし、この場合、出願者の選考および審査料は、科目等履修生の区分が同一の場合に限り、2ヶ年を限度として免除します。
- (3) 履修を許可された後の授業科目の変更は、認めません。
- (4) 科目等履修生は、大学図書館の利用を認められます。
- (5) 履修が許可され所定の履修手続きを完了した者には「科目等履修生身分証明書」を交付します。この証明書は、大学図書館を利用する際等に提示することになっています。有効期限は当該年度末までとなっていますので、年度末には大学院事務室に返還してください。
- (6) 科目等履修生は、通学定期乗車券発行証明書及び学生旅行運賃割引証（学割）等の特典を受けることができません。
- (7) 科目等履修生は、特に定めのない限り本大学院の正規学生に適用される諸規定に従うものとします。
- (8) 正規課程学生の受講者がいない授業科目の場合は閉講とします。閉講に伴う履修科目の変更は原則として認めません。
- (9) 一旦納入した審査料、受講料及び提出した書類等は原則として返還しません。  
但し大学側の事情により、科目の履修ができなくなった場合は返還する場合があります。
- (10) 所定期間に手続きを完了しない者は、受講資格を失います。



履修を許可する科目一覧（2018年度予定）

※変更になる場合もあります。ご注意ください。

ヒューマンイノベーションコース（就学キャンパス：**青山キャンパス**）

科 目	単 位	学 期	担 当
組織学習特論	2	前 期	香 川 秀 太
組織学習実践研究	2	後 期	香 川 秀 太
編集デザイン実践研究	2	前 期	荻 宿 俊 文
ワークショップデザイン特論	2	前 期	荻 宿 俊 文
編集デザイン特論	2	前 期	津 田 広 志 川 崎 紀 弘
創発認知特論	2	前 期	鈴 木 宏 昭
社会システム特論	2	前 期	宮 台 真 司
創発認知実践研究	2	後 期	鈴 木 宏 昭
ヒューマンイノベーション特別講義（E）	2	後 期	鷺 田 祐 一
組織学習特別講義	2	後 期	矢 吹 恒 夫
アフォーダンス実践研究	2	前 期	古 山 宣 洋
学習デザイン原論	2	前 期	荻 宿 俊 文 香 川 秀 太
学習学原論	2	後 期	高 木 光 太 郎 鈴 木 宏 昭
学習学研究法Ⅲ	2	後 期	喜 岡 恵 子
状況的学習特論	2	前 期	高 木 光 太 郎
状況的学習実践研究	2	後 期	高 木 光 太 郎
学習学研究法Ⅰ	2	前 期	榑 原 知 美 東 海 林 麗 香
学習学研究法Ⅱ	2	後 期	吉 松 久 美 子 坊 農 真 弓
ヒューマンイノベーション特別講義（C）	2	前期集中	岡 田 猛
非営利組織の知識経営特別講義	2	夏期集中	川 村 尚 也
学習コミュニティデザイン実践研究	2	夏期集中	荻 宿 俊 文
ワークショッププロデューサー特別講義	2	夏期集中	荻 宿 俊 文

社会情報学コース（就学キャンパス：相模原キャンパス）

科 目	単 位	学 期	担 当
社会情報学特論	2	前 期	専任教員オムニバス
環境エネルギー情報特論	2	前 期	石 田 博 之
環境エネルギー経済特論	2	前 期	南 部 和 香
応用経済特論Ⅰ	2	後 期	開 澤 栄 相
応用経済特論Ⅱ	2	前 期	長 橋 透
経済政策特論	2	後 期	長 橋 透
社会統計特論	2	前 期	寺 尾 敦
数理ファイナンス特論	2	後 期	伏 屋 広 隆
国際ファイナンス特論	2	後 期	開 澤 栄 相
インベストメント特論	2	後 期	皆 木 健 男
コーポレートファイナンス特論	2	後 期	皆 木 健 男
ダイナミクス特論	2	後 期	矢 野 公 一
数理代数学特論	2	前 期	小 池 和 彦
構造幾何学特論	2	後 期	矢 野 公 一
離散数学特論	2	後 期	小 池 和 彦
確率統計特論	2	前 期	伏 屋 広 隆
ヒューマンインタフェース特論	2	前 期	村 田 和 義
ナレッジマネジメント特論	2	前 期	稲 積 宏 誠
コンピュータシステム特論	2	後 期	飯 島 泰 裕
コンピュータネットワーク特論	2	後 期	宮 治 裕
データベースシステム特論	2	後 期	伊 藤 一 成
データマイニング特論	2	後 期	稲 積 宏 誠
ウェブテクノロジー特論	2	前 期	伊 藤 一 成
情報社会特論	2	前 期	飯 島 泰 裕
ウェブラーニング特論	2	後 期	寺 尾 敦
システム分析・設計特論	2	前 期	宮 川 裕 之
情報システム計画特論	2	後 期	宮 川 裕 之
プログラミング応用特論	2	前 期	宮 治 裕
公共経済学特論	2	後 期	南 部 和 香

経済シミュレーション特論	2	後期	石田博之
社会人間特別講義 (E)	2	後期	松澤孝紀
人間情報特別講義 (B) 【情報デザイン特論】	2	後期	村田和義
人間情報特別講義 (D)	2	後期	川合康央

地の塩、世の光

The Salt of the Earth, The Light of the World

青山学院スクール・モットー

青山学院大学大学院社会情報学研究科

〒252-5258 神奈川県相模原市中央区淵野辺 5-10-1

電話 042-759-6072 (ダイヤルイン)